

第 150 回 日文研レクチャーの御案内

「植民地朝鮮における学知の歴史：考古学、自然人類学、歴史研究
総合的なアプローチから」 （発表は日本語）

発表者： アルノ・ナンタ
（フランス国立科学研究センター 東アジア研究所 一級研究担当官）

日時： 2017年3月21日（火） 14:30～16:00
会場： 国際日本文化研究センター（日文研） 第5共同研究室
主宰者：松田利彦（日文研 教授）

概要： アルノ・ナンタ氏は、2012年～2016年の時期、日仏会館（東京）研究員として、植民地朝鮮における人類学・考古学・歴史学における学知の担い手について研究されてきた。今回は、精力的に進めてきた植民地朝鮮における学知に関して、包括的なレクチャーを行う。氏は、日韓の史資料に基づいて、植民地朝鮮における日本人考古学者、人類学者、歴史学者の学術活動について研究を進めてこられ、フランスの植民地主義との異同についても考察されている。フランスにおける日本植民地研究の現状を知る機会としたい。